

会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成21年度生涯学習センター第1回運営委員会 (川西市生涯学習センター)		
事務局 (担当課)	教育振興部 生涯学習センター 内線4567 (757-8481)		
開催日時	平成21年4月10日 (金) 14時00分～		
開催場所	生涯学習センター 1階OAルーム		
出席者	委員	大塚啓子、常行貞臣、堀田啓子、大音裕子、山本 朗、 眞田真美、渡瀬順之 (欠席) 山本房子、大崎喜弘 (備考) 学校関係代表は、近日中に決定	
	その他	教育長、教育振興部長	
	事務局	中定久紀、喜田由加里、海野恵子、藤原育子	
傍聴の可否	<input checked="" type="radio"/> 可 ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数	0 人
傍聴不可・一部不可の場合は、その理由			
会議次第	開会、挨拶 運営委員の委嘱及び任命について 自己紹介 運営委員会委員長及び副委員長の選任について 報告事項 (1) 平成20年度レフネックアンケート結果について (2) 平成21年度生涯学習センター事業について (3) 平成21年度レフネック第16期生の公開抽選について (4) 平成21年度レフネック第16期生の入学式について (5) その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり 会議資料は、市政情報コーナーに設置しています。		

1. 開会
2. 挨拶
3. 運営委員の委嘱及び任命
4. 自己紹介
5. 運営委員会委員長及び副委員長の選任について
生涯学習センターの設置及び管理に関する条例施行規則第17条第2項により委員の互選
委員長に大塚啓子氏、副委員長に大音裕子氏を選任
6. 報告事項
 - (1) 平成20年度レフネックアンケート結果について

事務局	資料1のとおり説明 レフネックの講義内容、講師の選定について90パーセントを越える方から大変よい、良いとの回答があった。オープン講座についておおむね満足との回答をいただいたが、もっと多くの方が受講できるようにとの要望もある。学生委員会制度は、大多数の支持を得ており、レフネック独自の取り組みとして継続していきたい。また、今後レフネックで学習したい講座内容として頂戴した個々の意見については、事業企画の参考にとらえている。地域の活動やボランティア活動についての問いには4割が活動中と答え、模索中との答えも多い。コメントからは地域活動への前向きな生きかたが見受けられる。地域貢献や学習機会の模索は増える傾向にある。
運営委員	アンケートから見られるレフネック事業に対する満足度は高い。
事務局	はじめは高度で専門的な内容に驚かれるが、参考書、またグループ学習もあり、非常に満足されるという結果をいただいている。
運営委員	学生の感想は、アンケートどおりと思う。また、美術史、音楽関係の講義を期待する声が学生の中には多い。事務局には個々の意見をよく見ていただきたい。
事務局	美術史は平成17年度のオープン講座で実施している。ご指摘の部門は、40回で専門的に開催することがむずかしいため、平成20年度は4回コースのオープン講座とし、一般の方も交えて音楽講座を実施した。また、音に対して施設面での制約もある。
運営委員	施設外、美術館めぐりなども一考。音楽史など開催の可能性はあると思う。クラシック音楽に限定せず今に即した内容が望ましい。関心を持たれる方も多いと思われるので、検討していただきたい。
運営委員	実施内容は、レフネックの専門的高度さを持ち続けるのがよいと思う。生涯学習施設のなかでもレフネックは、大学程度の学習レベルと位置づけて設立された。
運営委員	公民館は、グループ育成と高齢者対象の講座事業が中心。
運営委員	レフネックが公民館と同様の事業企画というのは、望ましくない。
事務局	学生からは、やさしすぎ、難解、どちらの意見もいただく。講師からは、

審 議 経 過

NO. 2

- 学習熱心なレフネック生のおかげで、ともに学ぶ喜びを感じたとの高い評価を得ており、平成20年度には講師からの強いお申し出により、哲学一日講座を無償で開催できた。修了生と講師の交流が続くことも見受けられる。
- 運営委員 本科は大学程度、オープン講座は公民館の高レベルと考えることもできる。オープン講座を4回より長く設定するよう期待する。
- 運営委員 受け手には、公民館と生涯学習センターの両方で同じようなものを開催しても違和感はないと思われる。受け手に区別はなくなっている。
- 運営委員 5月から12月初旬まではレフネック、12月から4月までレフネックの休み期間は公民館でよい講座が欲しい。

(地域活動関連)

- 運営委員 どなたもご自分の能力をどこかに発揮したいと思っておられる。生涯学習センターとしての取り組みを聞きたい。
- 事務局 学校ボランティア制度は届出制。指導科目も含めて登録をお願いしている。担当窓口は教育委員会学校教育室。レフネック修了式では案内文書を修了生全員に配布している。
- 教育長 文部科学省が平成20～22年度で学校支援地域本部という事業を立ち上げており、川西では3カ年計画で進めておるところ。中学校単位で実施することが望ましいと考える。コーディネーター的な役割をどこでするのが必要。今後、地域の人的資源を生かす方向に向かっていくよう、学校側も希望している。また、生涯学習の活用機会の場として進めるよう期待している。
- 運営委員 ボランティアとはいえ、講師、アドバイザーともに難しいこと。レフネック修了生がすぐ講師になれるとは思わない。難しいとよく分かる。
- 教育長 地域で顔が見える範囲での登録制が分かりやすいと思う。
- 運営委員 他市では、子供たちのお母さんができることを登録して、学校で教える取り組みがある。学校が募集、登録を担当している。
- 運営委員 顔が見える範囲で実施できると安全・安心にもつながり、子どもたちにとっても好ましい。地域の先生に来ていただくことは、学ぶ目線がかわるので子供にとってもよいこと。また、講師の力にもなる。
- 事務局 引き続きレフネックでも周知に努めていきたい。

(2) 平成21年度生涯学習センター事業について

- 事務局 資料2のとおり説明
特記なし

(3) 平成21年度レフネック第16期生の公開抽選について

- 事務局 本日現在の募集状況は、文化人類学科、経済・経営学科とも定員を超える申込があり、入学案内の2ページにもあるとおり、4月18日(土)10時から公開抽選を実施する。運営委員2名に立会いをお願いしたい。
大塚啓子氏、眞田真美氏が専任された。

審 議 経 過

NO. 3

(4) 平成21年度レフネック第16期生の入学式について

事務局 資料3のとおり説明

特記なし

(5) その他

運営委員 貸室の有料化についてお聞きしたい。

事務局 4月1日使用申請分から使用料を徴収している。4月8日までに39件47,610円の歳入。目立った混乱はなく、理解していただいていると思う。歳入の概算は年間1,017,000円。有料化とあわせて合理的に使用されることを想定していたが、登録グループは、増える傾向にある。

運営委員 有料化と同時に、今までより10分前に終了することとなり、使用者から困惑の声を聞いている。

運営委員 パレットかわにしも同じ使用区分帯となっている。

運営委員 今の使い方に慣れていくのでは。

事務局 使用者からは、30分前から入室したい、00分まで使いたい、双方の要望をいただいている。今後また何かあれば、委員会のご協力をいただきたいと思う。

運営委員 貸室として、一般使用はできるか。

事務局 一般使用できる。

運営委員 使用に際して、音の出る活動や子どもの使用に制約を設けていると聞いている。また、軽運動室で椅子など使用できるか。

事務局 軽運動室は貸室としての使用率が高い。床の仕様から椅子などの使用には細心の注意が必要なため、原則としてお断りしている。また、防音ができていないので、音量の調節についても使用者にお願いしている。

運営委員 レフネック入学式の際、式典会場として講義室をととても手狭に感じる。晴れの雰囲気欲しい。

その他特記なし

7. 閉会